

入札書（第 回）

鳥取県鳥取県土整備事務所長 ○○ ○○ 様

鳥取県建設工事等の入札制度に関する規則、鳥取県建設工事執行規則、鳥取県会計規則、図面、仕様書、現場説明書等を熟覧の上、次のとおり入札します。

年 月 日

入札者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

建設工事（測量等業務）の名称	
建設工事（測量等業務）の場所	
入 札 金 額	

備考

- 1 入札書は、封かんの上、表面に建設工事等の名称及び場所並びに住所、商号又は名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 入札金額は、算用数字で記載すること。

入札書（第 回）

鳥取県鳥取県土整備事務所長 ○○ ○○ 様

鳥取県建設工事等の入札制度に関する規則、鳥取県建設工事執行規則、鳥取県会計規則、図面、仕様書、現場説明書等を熟覧の上、次のとおり入札します。

年 月 日

入札者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

代理人 氏 名

印

建設工事（測量等業務）の名称	
建設工事（測量等業務）の場所	
入 札 金 額	

備考

- 1 入札書は、封かんの上、表面に建設工事等の名称及び場所並びに住所、商号又は名称及び代表者の氏名を記載すること。
- 2 入札金額は、算用数字で記載すること。

委任状

鳥取県鳥取県土整備事務所長 ○○ ○○ 様

私は、氏名 _____ を代理人と定め、次の建設工事（測量等業務）に関する入札の一切の
権限を委任します。

年 月 日

委任者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

Ⓔ

受任者 氏 名

Ⓔ

建設工事（測量等業務）の名称	
建設工事（測量等業務）の場所	

別記様式（第8条関係）

入 札 辞 退 届

鳥取県鳥取県土整備事務所長 ○○ ○○ 様

工事名（業務名）

工事場所（業務場所）

上記について指名（見積依頼）を受けましたが、都合により入札（見積合わせ）を
辞退します。

令和 年 月 日

住 所

商号又は名称

代表者氏名

（代理人氏名）

印

（辞退理由）

様式第3号(第18条関係)

見積書

職氏名様

鳥取県建設工事執行規則（昭和48年11月鳥取県規則第66号）、鳥取県会計規則（昭和39年3月鳥取県規則第11号）、図面、仕様書、現場等を熟覧のうえ、次のとおり見積りします。

年 月 日

見積者 住 所
商号又は名称
代表者氏名 印

工事名	
工事場所	
見積金額	金 円

備考 見積金額は、算用数字で記載すること。

監督員決定（変更）通知書

(受注者名)

(発注者名)

令和〇〇年〇〇月〇〇日に締結した建設工事請負契約第9条第1項の規定により、
下記のとおり、監督員を決定・変更しましたので、通知します。

担 当

電 話

ファクシミリ

記

工事名	〇〇川河川改修工事
工事場所	自 〇〇市〇〇 至

監督員	所 属	職 名	氏 名
総括監督員	〇〇総合事務所県土整備局・〇〇課	課長	〇〇 〇〇
主任監督員	〇〇総合事務所県土整備局・〇〇課〇〇班	副主幹	〇〇 〇〇
一般監督員	〇〇総合事務所県土整備局・〇〇課〇〇班	土木技師	〇〇 〇〇
準監督員	非常勤職員の場合 〇〇総合事務所県土整備局・〇〇課〇〇班 監督業務委託の場合 〇〇コンサルタント(株)	監督補助員	〇〇 〇〇

様式第 4 号(第 31 条関係)

現場代理人選任(変更)通知書

職 氏 名 様

次のとおり現場代理人を選任(変更)したので、通知します。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
現場代理人氏名	

様式第 5 号(第 32 条関係)

主任技術者等選任（変更）通知書

職 氏 名 様

次のとおり主任技術者（監理技術者・監理技術者補佐・専門技術者）を選任（変更）したので、通知します。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
主任技術者（監理技術者・監理技術者補佐・専門技術者）氏名	

様式第9号(第72条の3関係)

追加技術者選任(変更)通知書

職 氏 名 様

次のとおり追加技術者を選任(変更)したので、通知します。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
技術者氏名	

年 月 日

職 氏 名 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

請負代金内訳書の提出について

今回契約した〇〇工事の、請負代金内訳書を提出します。

-
- 備考 1. 用紙はA4版縦。
2. 請負代金内訳書の様式は定めていないので、入札時に提出した
工事費内訳書等を活用すること。

建設業退職金共済制度の掛金収納書

年月日：

職 氏 名 様

住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

建設業退職金共済組合証紙購入報告

下記のとおり証紙を購入したので当該掛金収納書を添付して報告します。

工事名		工 期	
契約年月日		契約金額	
共済証紙購入金額	¥		
掛金収納書を貼る（契約者から発注者用）			

-
- 備考 1. 用紙はA4版縦。
2. 添付する掛け金収納書は中小企業主に雇われる場合は赤色、大手事業主に雇われる場合は青色

(参考書式)

工事請負代金支払請求書

一金

円也

次の工事に係る請負代金として上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

受注者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

⑩

鳥取県〇〇事務所長 〇〇〇〇 様

工 事 名	
工 事 場 所	
請 負 代 金 額	金 円
工事完成年月日	令和 年 月 日
受 領 済 請 負 代 金 額	金 円 (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領)

備考 金額は、算用数字で記載すること。

上記金額を下記のとおり振り込んでください。

※債権者コードをお持ちの場合はこちらへ記載してください。

債権者コード	
--------	--

※債権者コードをお持ちでない場合又は当該コード以外への振り込みを希望される場合は、こちらへ記載してください。

金 融 機 関 名	預金種別	口 座 番 号	口座名義 (カタカナ)
	預金		

(参考書式)

工事請負代金前金払請求書

一金

円也

次の工事に係る前払金として上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

受注者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

㊟

鳥取県〇〇事務所長 〇〇〇〇 様

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
請負代金額	金 円
受領済 請負代金額	金 円

備考 金額は、算用数字で記載すること。

上記金額を下記のとおり振り込んでください。

※前金払の債権者コードをお持ちの場合はこちらへ記載してください。

債権者コード	
--------	--

※前金払の債権者コードをお持ちでない場合又は当該コード以外への振り込みを希望される場合は、前金払専用口座をこちらへ記載してください。

金 融 機 関 名	預金種別	口 座 番 号	口座名義 (カタカナ)
	預金		

(参考書式)

工事請負代金部分払請求書

一金 円也

次の工事に係る請負代金の部分払金として(出来形 %) 上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

受注者 住 所
商号又は名称
代表者氏名 ⑩

鳥取県〇〇〇〇事務所長 〇〇〇〇 様

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
請負代金額	金 円
受領済請負代金額	金 円 (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領)

備考 金額は、算用数字で記載すること。

上記金額を下記のとおり振り込んでください。

※債権者コードをお持ちの場合はこちらへ記載してください。

債権者コード	
--------	--

※債権者コードをお持ちでない場合又は当該コード以外への振り込みを希望される場合は、こちらへ記載してください。

金融機関名	預金種別	口座番号	口座名義(カタカナ)
	預金		

(参考書式)

部分引渡しに係る工事請負代金支払請求書

一金

円也

次の工事に係る部分引渡しに対する請負代金として上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

受注者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

鳥取県〇〇〇〇事務所長 〇〇〇〇 様

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期 (指定部分に係る工期)	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで (令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで)
請 負 代 金 額	金 円
指定部分に相応する 請 負 代 金 額	金 円
指 定 部 分 に 係 る 工 事 完 成 年 月 日	令和 年 月 日
受 領 済 請 負 代 金 額	金 円 (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領) (金 円 年 月 日受領)

備考 金額は、算用数字で記載すること。

上記金額を下記のとおり振り込んでください。

※債権者コードをお持ちの場合はこちらへ記載してください。

債権者コード	
--------	--

※債権者コードをお持ちでない場合又は当該コード以外への振り込みを希望される場合は、こちらへ記載してください。

金融機関名	預金種別	口座番号	口座名義 (カタカナ)
	預金		

(参考書式)

工事請負代金中間前払請求書

一金 円也

次の工事に係る中間前払金として上記のとおり請求します。

令和 年 月 日

受注者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

㊞

鳥取県〇〇〇〇事務所長 〇〇〇〇 様

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
請負代金額	金 円
受領済 請負代金額	金 円

備考 金額は、算用数字で記載すること。

上記金額を下記のとおり振り込んでください。

※前金払の債権者コードをお持ちの場合はこちらへ記載してください。

債権者コード	
--------	--

※前金払の債権者コードをお持ちでない場合又は当該コード以外への振り込みを希望される場合は、前金払専用口座をこちらへ記載してください。

金融機関名	預金種別	口座番号	口座名義 (カタカナ)
	預金		

(様式1)

中間前金払認定請求書

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	
契 約 金 額	
契 約 年 月 日	
<p>上記の工事について、工事請負契約書第34条第3項の規定により、中間前金払の認定を請求します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>職氏名 様</p> <p>請負者 住 所 代表者氏名</p> <p style="text-align: right;">④</p>	

(様式3)

中間前金払認定調書

工 事 名	
工 事 場 所	
工 期	
契 約 金 額	
摘 要	
<p>上記の工事について、その進ちよくを調査したところ、中間前金払をすることができる要件を具備していることを認定します。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>請負者 住 所 代表者氏名 様</p> <p>職氏名 ⑩</p>	

年 月 日

受信者：「受注者名」又は『発注者 職氏名』
殿

発信者：「発注者 職氏名」又は『受注者名』
印

工事の部分使用について

標記について、下記のとおり部分使用することを、工事請負契約書第33条第1項に基づき（協議・承諾）する。

記

1. 使用目的
2. 使用部分
3. 使用期間 自
至
4. 使用者
5. その他

-
- 備考
1. 用紙はA4版縦
 2. （協議・承諾）には、いずれかに印をつける。
 3. 協議の場合は、受信者を「受注者名」、発信者を「発注者 職氏名」として、発注者が作成する。
 4. 承諾の場合は、受信者を『発注者 職氏名』、発信者を『受注者名』として、受注者が作成する。

様式第 6 号(第 41 条関係)

工期延長願

職 氏 名 様

次のとおり工期を延長して下さるようお願いいたします。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
工 期	年 月 日から 年 月 日まで
期間延長申出日数	日間
延長後工期	年 月 日から 年 月 日まで
工期の延長を必要とする理由	

[受注者からの請求]

令和〇〇年〇〇月〇〇日

職氏名〇〇〇〇 様

受注者 〇〇建設(株)
代表者名

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について (請求)

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで契約締結した〇〇〇〇〇工事については、賃金等の変動により、工事請負契約書第25条第6項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

1. 請負代金額 　　¥
2. 工　　期　　令和〇〇年〇〇月〇〇日から
　　　　　　　令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
3. 希望基準日　　令和〇〇年〇〇月〇〇日
4. 変更請求概算額 　¥
5. 概算残工事請負代金額 　¥
　　概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

[発注者からの請求]

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

職氏名〇〇〇〇

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について（請求）

令和〇〇年〇〇月〇〇日付けで契約締結した〇〇〇〇〇〇工事については、賃金等の変動により、工事請負契約書第25条第6項の規定に基づき請負代金額の変更を請求します。

記

1. 請負代金額 　　¥
2. 工　　期　　令和〇〇年〇〇月〇〇日から
　　　　　　　令和〇〇年〇〇月〇〇日まで
3. 希望基準日　　令和〇〇年〇〇月〇〇日
4. 変更請求概算額 　¥
5. 概算残工事請負代金額 　¥
　　概算残工事請負代金額とは、請負代金額から希望基準日における出来形部分に相応する請負代金額を控除した額
6. 担　　当　　職氏名〇〇〇〇

※今回の請求は、あくまで概算額であり、精査の結果、請求額が変更となっても問題はない。

(別紙様式2)

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

職氏名〇〇〇〇

工事請負契約書第25条第8項に基づく協議の開始の日について（通知）

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった標記について、工事請負契約書第25条第8項の規定に基づき、インフレスライド額協議開始日を通知します。

記

1. 工 事 名 〇〇〇〇〇〇工事

2. インフレスライド額協議開始日 令和〇〇年〇〇月〇〇日
(※インフレスライド額協議開始日は、受注者の意見を聴いて、請求日から7日以内に設定する)

3. 担 当 職氏名〇〇〇〇

(別紙様式3-1)

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇号
令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

職氏名〇〇〇〇

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について（協議）

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について、同条第7項の規定に基づき下記のとおり協議します。
なお、異存がなければ、別添承諾書へ記名押印のうえ返送願います。

記

1. 工 事 名 〇〇〇〇〇工事

2. インフレスライド変更金額 (増) 円 _____
うち、取引に係わる消費税及び地方消費税の額 円 _____
基 準 日 令和〇〇年〇〇月〇〇日

3. 担 当 職氏名〇〇〇〇

承 諾 書

工事名 ○○工事

令和○○年○○月○○日付けで協議のありました上記工事の工事請負契約書第25条第7項によるインフレスライド協議変更額に異存ありませんので、承諾します。

記

1. インフレスライド変更金額	(増) ￥	_____
うち、取引に係わる消費税及び地方消費税の額	￥	_____
基 準 日		令和○○年○○月○○日

令和○○年○○月○○日

受注者
住所
氏名

職氏名○○○○ 様

(別紙様式3-2)

第〇〇〇〇〇〇〇〇〇号

令和〇〇年〇〇月〇〇日

受注者

様

職氏名〇〇〇〇

工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について（協議）

令和〇〇年〇〇月〇〇日付け請求のあった工事請負契約書第25条第6項に基づく請負代金額の変更について、同条第7項の規定に基づき、下記のとおり協議します。

記

1. 工 事 名 〇〇〇〇〇工事
2. インフレスライド変更適否 インフレスライドの適用が認められない
3. 理 由 インフレスライド額が対象工事費の1%を超えないため
4. 担 当 職氏名〇〇〇〇

インフレスライド調書

工 事 名	
請 負 代 金 額	円 (消費税含まず)
	円 (消費税含む)
設 計 書 金 額	円 (消費税含まず)
	円 (消費税含む)
工 期	自 令和 年 月 日
	至 令和 年 月 日
基 準 日	令和 年 月 日
出 来 高 額	円 (税抜き)
残 工 事 額 (P ₁)	円 (税抜き)
変 更 残 工 事 額 (P ₂)	円 (税抜き)

※増額インフレスライド用

〇〇〇〇〇〇工事に係る

賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

請負代金額	出来高額	P ₁	P ₂

$$\begin{aligned} \text{インフレスライド額 (S)} &= (\quad P_2 \quad - \quad P_1 \quad) - P_1 \times 1/100 \\ &= (\quad - \quad) - \quad \times 1/100 \\ &= \quad - \quad \\ &= \end{aligned}$$

(但し、P₁ < P₂)

- P₁ : 請負代金額から出来形部分に相応する請負代金額を控除した額
- P₂ : 変動後(基準日)の賃金等を基礎として算出したP₁に相当する額

$$\begin{aligned} \text{インフレスライド額} \\ \text{(税込み)} &= \quad \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

※減額インフレスライド用

〇〇〇〇〇〇工事に係る

賃金等の変動に基づく請負代金額計算書

請負代金額	出来高額	P ₁	P ₂

$$\begin{aligned} \text{インフレスライド額 (S)} &= (P_2 - P_1) + P_1 \times 1/100 \\ &= (\quad - \quad) + \quad \times 1/100 \\ &= \quad + \quad \\ &= \end{aligned}$$

(但し、P₁ > P₂)

- P₁ : 請負代金額から出来形部分に相応する請負代金額を控除した額
- P₂ : 変動後 (基準日) の賃金等を基礎として算出したP₁に相当する額

$$\begin{aligned} \text{インフレスライド額} \\ \text{(税込み)} &= \quad \times \text{消費税及び地方消費税率} \\ &= \end{aligned}$$

年 月 日

(発注者 職 氏名) 様

(受 注 者) 印

天災その他の不可抗力による損害の通知について

下記のとおり、天災、その他の不可抗力により損害を生じたので、契約書第29条により通知します。

記

1. 工 事 名
2. 工 事 箇 所
3. 天災発生年月日
4. 天 然 現 象
5. 被 災 概 要 (別紙内訳書及び写真)
6. 受注者のとった処置

-
- 備考
1. 用紙はA4版縦。
 2. 監督職員に提出。
 3. 1 天然現象は、降雨（24時間雨量、1時間雨量）、強風、地震、津波、高潮及び豪雪に起因するものを記載する。
2 被災概要は別紙内訳書

年 月 日

(受注者) 様

(発注者 職氏名) 印

天災その他の不可抗力による損害の認定について

標記について、貴社より〇〇年〇〇月〇〇日付けで通知のありました「天災その他の不可抗力による損害の通知について」について、調査を行った結果、下記工事について「天災その他の不可抗力による損害」と認定しましたので、工事請負契約書第29条第2項に基づき通知します。

なお、損害額については、別途協議願います。

記

工 事 名

工 期

年 月 日

(発注者 職氏名) 様

(受注者) 印

天災その他の不可抗力による損害額の協議について

標記について、下記のとおり協議します。

記

工 事 名
損 害 額
工 期
工 期 延 長

-
- 備考 1. 用紙はA4版縦。
2. 監督職員に提出。
3. 算出根拠の内訳を添付すること。

年 月 日

(受注者) 様

(発注者 職氏名) 印

天災その他の不可抗力による損害について (協議・承諾)

標記について、貴社より提出の工事請負契約書第29条に基づく天災その他不可抗力による損害額の協議については、当局において細部について検討した結果、下記のとおりその金額を算定したので協議します。

なお、この金額に依存がない場合には下記に押印のうえ返送願います。

記

工 事 名

協 議 金 額

貴 社 要 求 額

工 期

工 期 延 期

上記協議金額については承諾しました。

年 月 日

(発注者 職氏名) 様

(受注者)

年 月 日

(発注者 職氏名) 様

(受注者) 印

天災その他の不可抗力による損害額の請求

標記について、工事請負契約書第29条第3項に基づき、下記のとおり請求します。

記

工 事 名
請 求 金 額
支 払 口 座 等

-
- 備考 1. 用紙はA4版縦。
2. 監督職員に提出。

支 給 品 引 渡 書

(受注者) 様

年 月 日

発注者 監督職員 職氏名 _____ 印

下記のとおり物品を支給するから通知する。

記

工 事 名					
引渡時期					
引渡場所					
引渡の相手方					
引渡者					
分 類	品 目	規 格	単 位	数 量	備 考
摘 要					

支 給 品 精 算 書

年 月 日

物品管理官（官職氏名）

殿

受注者（住所）

（氏名）

（現場代理人氏名）

印

下記のとおり支給品を精算します。

記

工 事 名				契約年月日			
品 目	規 格	単 位	数 量			備 考	
			支給数量	使用数量	残 数 量		
※ 主任監督員 証 明 欄	上記精算について調査したところ事実に相違ないことを証明す 年月日： （官職氏名）					※物品管理簿登記 印	

備考 ※は主任監督員が記入する。

建設機械使用実績報告書

平成 年 月 日 自 日
 平成 年 月 日 至 日

工事名
 建設機械の貸付契約年月日
 監督職員の見印

借受人 (氏名)
 作成者 (氏名)

印
 印

建設機械名	建設機械番号	おもな作業内容	おもな作業の作業量	稼働状況		維持修理費	修理箇所等	摘要
				運転日数	運転時間			
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		
				日	時間	千円		

- 備考
- おもな作業内容の欄は、貸付機械を二工種以上の異なる作業に使用したときは、運転時間又は運転日数の最も多い作業内容を記入する。
 - おもな作業の作業量の欄は、おもな作業内容に欄に記入した作業の作業量を測定できるときに記入する。
 - 運転時間の欄は、運転時間の管理のできない機械又は管理の必用のない機械については、記入を省略することができる。

年 月 日

発注者

職 氏名

様

受注者 (住所)

(氏名)

(現場代理人氏名)

印

建設機械 書

下記工事に使用 下記建設機械を機能現況確認の上、
しました。

工事名							
建設機械名	型式	機械番号	付属品			引渡しを受けた場所	備考
			名称	規格	数量		

引渡し立会者

鳥 取 県 (職氏名)

借 受 人 (氏名)

印
印

備考 借用・返納、する・した、の文字は該当するもののみ記入すること。

建設工事執行状況報告書

平成 年 月 日

様

請負者 許可番号 大臣・知事
 一般・特定 第 号
 商号又は名称
 代表者氏名



1 工事名 工事
 2 工事場所
 3 工期 平成 年 月 日～平成 年 月 日
 4 請負代金額 円

平成 年 月 日付で請負契約を締結した上記工事について、下記のとおり執行したので報告します。

記

事 項	内 容
①下請業者の使用 ②交通誘導等の委託	の有無 有 ・ 無
下請(委託)契約内容	
下請(委託)契約先	住 所
	商号・名称・代表者氏名
	建設業許可の有無
下請(委託)契約金額	円 (うち取引に係る消費税及び地方消費税の額相当分 円)
下請(委託)契約締結年月日	平成 年 月 日
下請(委託)契約期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
下請(委託)契約状況の内容 (契約の内訳書については、別紙を提出すること。)	
1 下請(委託)契約代金の見積・決定	
(1) 下請(委託)契約代金の決定方法 (契約金額の決定方法)	ア 下請(委託)契約先の数社から見積書を徴し、一番価格の安い者に決定 イ 下請(委託)契約先から見積書を提出させ、下請契約先と協議により決定 ウ 下請(委託)契約先から見積書を提出させ、見積額を参考にするが、自社単独で決定 エ 下請(委託)契約先から見積書を提出させるが、見積額を参考にせず自社単独で決定 オ 下請(委託)契約先から見積書は取らず、自社の見積額により決定 カ その他 (具体的に記載すること。)
(2) 見積依頼方法 ((1)でアイウエと答えた場合)	ア 書面により依頼 (FAX、メールを含む。) イ 口頭で依頼 (電話を含む。)
(3) 見積りの明示方法 ((1)でアイウエと答えた場合)	ア 工事(業務)種別ごとに労務費、材料費、外注費、その他の経費の内訳を明示させている イ 工事(業務)種別ごとに一式で作成させ、内訳については明示させていない ウ 工事(業務)種別は明示させず、労務費、材料費、外注費、その他の経費の内訳を明示させている エ 工事(業務)種別及び経費の内訳は明示させていない

6 施工体制台帳等 ※委託は除く	
(1) 施工体制台帳の作成 (下請契約の代金の合計が3,000万円(建築一式4,500万円)以上の工事)	ア 該当工事でない イ 施工体制台帳を作成し、その写しを発注者に提出した ウ 施工体制台帳を作成しているが、その写しを発注者に提出していない エ 施工体制台帳を作成していない
(2) 施工体系図の作成 (下請契約の代金の合計が3,000万円(建築一式4,500万円)以上の工事)	ア 該当工事でない イ 施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所及び公衆が見やすい場所に掲げた ウ 施工体系図を作成し、工事関係者が見やすい場所に掲げているが、公衆が見やすい場所には掲げていない エ 施工体系図を作成したが、工事関係者が見やすい場所に掲げていない オ 施工体系図を作成していない
(3) 帳簿の備え付け (営業所ごとに、営業に関する事項を記載した帳簿を備え付けているか)	ア 備え付けている イ 備え付けていない
(4) 帳簿の保存期間 (3)でアと答えた場合、建設工事の引渡しを行ってから何年間帳簿を保存しているか)	ア 5年以上 イ 3～4年 ウ 1～2年 エ 保存していない

- (注) 1 低価格落札工事(低価格落札工事に係る履行保証制度等の運用について(平成15年2月18日付管第1986号県土整備部長通知)の別紙3に定めるところにより設定された保証金引上等基準価格を下回る金額で落札された工事をいう。)である場合において、工事の一部を第三者に請け負わせたときは、その下請(委託)契約を行ったもの全てについて、金額を問わず1社ごとに全て報告を行うこと。
- 2 報告の期限は、工事完成検査結果の通知日から20日以内とする。
- 3 該当する項目に○印を付すること。(該当しない項目は、記入しなくてよい。)
- 4 報告事項に係る次の書類の写しを必ず添付すること。
①見積書 ②契約書(請書、注文書) ③請求書 ④領収書 ⑤銀行振込書
⑥工事台帳 ⑦施工体制台帳(施工体系図) ⑧その他関係書類
※再資源化等報告書を提出していない場合は、必ず提出すること。
- 5 提出部数は、1部とする。
- 6 この報告書に記載された内容について、建設工事低価格受発注者に対する経営診断要領第2条第2項に該当した場合は、同要領に定めるところにより経営診断を受けるよう指導する。

様式第7号(第51条関係)

工事完成（修補完了）通知書

職 氏 名 様

次のとおり工事が完成（修補が完了）したので、通知します。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
工 期	年 月 日から 年 月 日まで
請負代金額	金 円
工事完成（修補完了）年月日	年 月 日

工事出来形部分等確認通知書

商号又は名称
代表者氏名

次のとおり出来形部分等の確認の結果を通知します。

令和 年 月 日

鳥取県〇〇県土整備事務所長

〇〇 〇〇

(令和 年 月 日現在)

工 事 名		
工 事 場 所	自	
	至	
工 期	令和 年 月 日	から 令和 年 月 日 まで
請 負 代 金 額	金	円
出 来 形		%
出来形請負代金額	金	円
上記の10分の9の金額	金	円
既 支 払 済 金 額	金	円
前 払 金 額	金	円
部 分 払 金 額	金	円
今 回 支 払 金 額	金	円

様式第 8 号(第 66 条関係)

工事出来形部分等確認願

職 氏 名 様

次の工事に係る出来形部分等の確認をしてくださるようお願いいたします。

年 月 日

請負者 住 所
商号又は名称
代表者氏名

印

工事名	
工事場所	
工 期	年 月 日から 年 月 日まで
請負代金額	金 円
出来形	%

備考 請負代金額は、算用数字で記載すること。